

本町の魅力を発信し 地域の活性化を支援



岡本 久子さん
Okamoto Hisako

〔上豊内区〕

おかもと ひさこ / 甲佐町地域おこし協力隊。まちづくり協議会が運営するウェブサイト「magazine BO」を通して本町の魅力発信に取り組む。

「商店街を流れる大井出川の風景は、甲佐ならではの感じます。部屋の窓を開ければ、川のせせらぎを聞くことができる、のどかな暮らしを楽しんでいます」と話すのは、甲佐町地域おこし協力隊の岡

本久子さん（上豊内区）。地域おこし協力隊とは、地域の活性化を目的として、都市住民などの地域外の人材を地域の担い手として受け入れ、まちづくりに関する取り組み支援などの地域協力活動を行

うもの。岡本さんは、甲佐自身の知人の紹介がきっかけで昨年7月に甲佐町地域おこし協力隊として着任。広告デザイナーとしての経験を活かして、ウェブマガジンの作成やイベントでの展示パネルのデザイン制作などを担当。これまで「あゆまつり」や「甲佐蚤の市」といったイベントだけでなく、「やな場」のあゆ料理や高田精肉店の「にらメ

ンコ」といった町内グルメを取材するなど、本町の魅力を町内外に発信してきた。「まずは町外の方に甲佐町がどんなところなのかを知ってもらうために、ウェブマガジンの記事を充実させたいと思っています。今後、町内を散策する際に活用できるように紹介店舗をマップにまとめて提供できれば、と考えているところです」と岡本さん。

熊本市内からの移住者でもある岡本さんは、取材の傍ら地域資源を活用した観光商品開発などにも携わっており、移住者ならではの視点で、甲佐町まちづくり協議会が進めるプロジェクトの運営サポートを行っている。

「昨年10月の稲刈り体験に参加していただいた方が、その後、古民家改修ワークショップに参加されたことがありました。取材や企画・運営のサポートを通して、それまでなかった新しいつながりをつくる橋渡し役が出来ればうれしいですね」という岡本さんは、明るい笑顔で甲佐の魅力発信し続ける。

広報 こうさ

2020年（令和2年）2月号
通巻607号